

議会事務局 処 理 欄	令和8年2月17日	質問（受付）順位	1 番
	8時30分		

令和 8年 2月17日

阿久比町議会  
議長 竹内 卓美 殿

阿久比町議会議員  
都築 清子  
議席番号 7 番

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和8年第1回定例町議会において次のように質問したいから通告します。

番号	質 問 事 項	質 問 の 要 旨 (具体的にご記入願います)	備 考
1	シビックプライドの醸成	<p>全国的に人口減少や少子高齢化が進む中で「阿久比町に住み続けたい、このまちを誇りに思う」といった住民の意識＝「シビックプライド」が、持続可能なまちづくりの基盤としてますます重要になっていると考えます。</p> <p>「シビックプライド」は、単なる郷土への愛着にとどまらず、地域活動への参加意欲や定住意識の醸成、さらにまちの魅力を外部へも発信する力にもつながるものです。そこで以下の点について本町の見解と今後の取組みを伺います。</p> <p>① シビックプライドの定義や考え方についての見解を伺います。</p> <p>② これまで本町が実施してきたシビックプライドの醸成に関する取組みの効果と、今後どのような方針で進めていくのかを伺います。</p> <p>③ 学校教育や社会教育において、郷土への誇りや愛着を育む取組みをどのように進めているか伺います。</p> <p>④ シビックプライドの醸成を、産業振興、定住などまちの活性化にどのように結びつけていく考えであるのかを伺います。</p> <p>⑤ 平成15年に制定された町民憲章は、町民の誇りや郷土愛を示す理念として、シビックプライドと深く関わるものと考えます。時代の変化や町民の多様性を踏まえ、より共感を得られるものへと見直しすることについての見解を伺います。</p>	

番号	質問事項	質問の要旨 (具体的にご記入願います)	備考
2	女性の健康促進	<p>厚生労働省では毎年3月1日～8日(3月8日国際女性の日を含む)を「女性の健康週間」と定め、女性の健康づくりを国民運動として展開しています。女性の健康に関する正しい知識の普及と社会全体での理解と促進を目的としたものです。</p> <p>令和6年版男女共同参画白書では「仕事と健康の両立」について特集をされており、月経や更年期障害など女性特有の健康課題が働く世代に大きな影響を与えている実態を示しています。具体的には月経のある女性の8割、更年期障害の自覚のある女性の9割が仕事、育児等に支障があると回答しているとのこと。同白書は、女性特有の症状を踏まえた健康課題に男女問わず広く社会全体で取り組むことを求めています。</p> <p>女性の一生は、思春期、成熟期、更年期、老年期と年齢によってホルモンの変化や、結婚や妊娠、育児などのライフステージの変化によって心身の状態が大きく変化します。</p> <p>その中で仕事、家事、育児、介護など、複数の役割を担う女性が多く、健康への負担が見過ごされがちです。</p> <p>本町においても、女性が健やかに安心して社会で活躍し続けられるよう健康支援の充実が求められています。</p> <p>そこで本町の現状と今後の取組みについて伺います。</p> <p>① 女性特有の健康課題は、相談しづらく一人で抱え込みやすい傾向があります。現在、女性の健康に関する相談体制と情報発信はどのようになっていますか。</p> <p>② ライフステージに応じた、女性の健康に対する不安などを相談できる健康支援体制の強化についてどのように考えますか。</p> <p>③ 男女問わず「女性の健康課題」への理解を深めるための教育・啓発についてどのように取り組んでいますか。</p> <p>④ 「女性の健康習慣」を根付かせるための啓発活動についての見解と今後の展望について伺います。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	